

SPring-8-II整備に伴うSPring-8の 運転および課題募集の停止について

資料3
科学技術・学術審議会
研究開発基盤部会
量子ビーム施設利用推進委員会
(第12回)
令和8年7月27日

- SPring-8-IIの整備にあたり、所期の計画通り、2027年8月(2027A期の運転終了後)から約1年間SPring-8の運転を停止し、蓄積リング加速器の更新作業を実施する。次いで、2029年の年初からコミショニングを開始し、試験利用を経て、2029年度中にSPring-8-IIの共用を開始する予定である。
- これに伴い、2027B期より当面の間、課題募集・実施を停止する。
- SPring-8-IIの共用開始時期及び課題募集については、改めて案内する。
- SPring-8の運転および課題募集の停止については、今後、ウェブサイト（SPring-8/SACLA、国立研究開発法人理化学研究所、特定放射光施設ユーザー協同体（SpRUC）など）、SPring-8およびSACLAの選定委員会、SpRUC、SPring-8利用推進協議会、日本放射光学会等の学協会等の主催・共催による会議等で広く周知を行っていく。

SPring-8停止への対応について

- SPring-8停止への対応として、SACLAでは産業利用ユーザーの受入れ拡大を目指す。すでにSACLA産業利用ワークショップ(2026年3月5日)やSACLA研修会「産業利用のためのイメージング研修会」(2026年7月15日)を開催してきたほか、特定放射光施設シンポジウムや各種ユーザーズミーティング等の機会に産業利用ユーザーへの案内を進める。
- SPring-8停止期間にかかるSACLAの成果専有利用料金について、産業利用ユーザーの利用促進の観点からキャンペーン料金を検討。